

## ■ フレンドリールールバリエーション ■

■対象：フレンドリーの部：小学生、一般の初中級レベル対象。

### 【1】申し合わせ事項設定方針

- ・安全面、スムーズなゲーム展開、チームメートと力を合わせてゲームする楽しさを重視。
- ・主にヒット、レシーブのラリーで得点が入るように設定。
- ・小学生、一般の初中級の対象に合わせ、だれもが参加しやすいよう、最低限度の反則設定。

### 【2】主な反則 ×

公式ルールにある反則の中で次のものを反則として採用する。

項目	備考
トゥイス（連続ヒット）	※2012 年度より記載追加。実質的には以前と変わらず。
レシーブミス	セット時に崩れて、ボールが落ちた場合を含む。
アウトサイド（アウトボール）	
ショートヒット（短いヒット）	
ダウンワードヒット （下向きのヒット）	
コンタクトミス①② 2 種類	① 1 人以上がセットされたボールから、セットする意思がないか、または明らかに手の届かない位置にいた場合。 ② 2 人以上がヒットを行おうとし、タイミングがずれて明らかに同時に 4 人触っていない場合。
コールミス①～⑦ 7 種類	① 同時コール（ヒットしながらのコール） ② 自チームカラーのコール ③ 3 色以外のカラーのコール ④ レフリーに聞こえない小さい声のコール ⑤ 「オムニキン」がないコール ⑥ 2 人以上が同時にコール ⑦ カラーが 2 色コールされた場合で公式ルール上も反則のコール 「オムニキン ピンク ブラック」 「オムニキン ピンク オムニキン ブラック」など

### 【3】主なリプレー ▲

公式ルールでは反則となるものも、フレンドリールールバリエーションではリプレーにする場合がある。また、特に子どもの場合片手ヒットは怪我するおそれがあるため、徹底した指導を行うことが重要。

項目	備考
無意識の妨害	勘違いでコールされていないチームのプレーヤーがヒットされたボールに最初に触った場合など。
コールミス⑧ 1 種類	⑧ プレー開始のホイッスルが 2 回なる前にコールを始め、そのままプレーを続けた（ヒットした含）場合。
故意でない人と人、人とボールの接触	わざとではなくボールや人に近づきすぎ、勢い余ってボールや人にぶつかってしまった場合など。接触によりセットが崩れてしまった等の問題が発生した場合のみリプレー。
イリーガルトラベリング （ボールの不正移動）	
イリーガルディフェンス （不正な守備）	安全面での配慮によりヒットイン時にレシーブチームのプレーヤーは、全員ボールより 1.8m の範囲内で守ってはいけない。ただし、連続したプレーの中（ヒットイン時以外のヒット時）での意図的でない場合はこの限りでない。 ★フレンドリールールバリエーションの特別イリーガルディフェンス。
片手ヒット	安全面での配慮により片手でヒットが行われそうな時、声かけ指導をしたり、事前にレフリーが止める場合あり。 ★フレンドリールールバリエーションの特別ヒット。
通常警告となる場合、申し合わせ事項を悪用しているとレフリーが判断した場合 ※【6】確認事項参照	1 回目のみ口頭での嚴重注意。

#### 【4】 プレー続行 ○

★必要に応じてレフリーによる口頭指導あり

項目	備考
コンタクトミス①②以外	ヒット直前に触っていて、ヒット中に離れた時。プッシュヒットのとき、よく起こりうる事態だが、本来適用するコンタクトミスは適用せず、プレー続行。
コールミス①～⑧以外	上のコールミス反則欄の①～⑦、リプレー欄の⑧以外のコールミス 例1 「オムニキン (「えーっと」やチームメートの名前など別の言葉) ピンク」など。 例2 オムニキン、オムニキンと繰り返してカラーをコールした場合「オムニキン オムニキン ピンク」
故意でない人と人、人とボールの接触	わざとではなくボールや人に近づきすぎ、勢い余ってボールや人にぶつかってしまった時など。ゲームの進行上、問題がないとレフリーが判断した場合、プレーを続行。
5秒ルール・10秒ルール違反	
不当な攻撃(通称トップコール)	
ウォーキング	
イリーガルディフェンス(不正な守備)	連続したプレーの中(ヒットイン時以外のヒット時)での意図的でなく、相手のヒット時にボールより1.8mの範囲内で守った場合、プレーを続行。 ★フレンドリールールバリエーションの特別イリーガルディフェンス。

#### 【5】 警告 ××

項目	備考
通常警告となる場合、申し合わせ事項を悪用しているとレフリーが判断した場合 ※【6】確認事項参照	2回目以降

#### 【6】 確認事項

項目	備考
通常警告となる場合、申し合わせ事項を悪用しているとレフリーが判断した場合	本来、1回目より適用する警告は適用しない。 ▲ 1回目 口頭での厳重注意。リプレー。 ×× 2回目以降 警告適用。
ヒットインのホイッスル(プレー再開の合図)の前に明確な反則が見られた場合	公式ルールは適用しない。レフリーが指導してその状態を正す。 ◇例 ライン際のセットでプレーヤーの1人の両足が完全にコート外に出ていて、そのままヒットしようとした時、ヒット時のボールの移動違反など。
ヒットインのホイッスル(プレー再開の合図)のタイミング	公式ルールは適用しない。レフリーが全体を確認。 ◇例 本来、レフリーはヒットチームの準備が整えば、再開のホイッスルをならしてよいが、ヒットチーム以外のプレーヤーの準備態勢も確認してからゲームを再開。